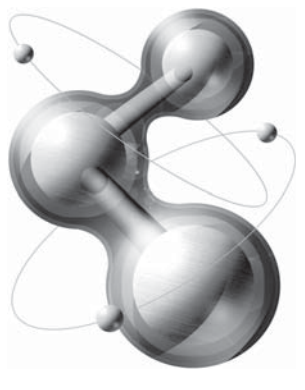


新しい日本の投資・製造拠点へ



モノづくり日本会議
—モノづくり推進会議 NextStage—

■パネリスト
インド商工省 ジャパン・プラス コーディネーター 豊福健一朗氏
国際協力機構 南アジア部次長 松本勝男氏
インドステイト銀行 コーポレート・センター チーフ・ジェネラル・マネージャー スジート・クマール・ヴァルマ氏

インドステイト銀行 リーショナル・ヘッド（東アジア担当） アシュウィニ・クマール・ティワリー氏
インドステイト銀行 在日代表&チーフ・エグゼクティブ・オフィサー東京 B. R. S. サトヤナラヤナ氏
■モデレーター エンセス 代表取締役 ニルマラ純子氏

パネルディスカッション インドでモノづくりを 製造&輸出ハブとして の可能性を探る

ニルマラ インドステイト銀行はインド最大の銀行。東京、大阪にジャパンデスクがあるというが、どんなサービスがあるのか。サトヤナラヤナ インドにジャパンデスクがあり、日本の企業、銀行からの問い合わせに対して、無料で情報を提供している。東京と大阪にもジャパンデスクを設けている。より需要に応えるため、日本語で応答できるようにした。日本の企業とインドのジャパンデスクの橋渡しの役割を担う。



豊福氏

ニルマラ 本日のセミナーに先立って聴講者が相、首相府がより力を入らざるを得ない。それを踏まえてパネリストの皆さんにお話を伺いたい。行政分野では総務省（SARCA）がある。南アジア地域協力連合（SAARC）がある。ASEANに比べてモディ政権が速い。モディ政権になって、前回の首脳会議では電力融通の枠組みが合意されるなど、動きが出てきている。ニルマラ 先ほど松本さんから「州同士の競争が過熱している」とおっしゃったが、インバールやアツも増えるだろう。



松本氏

ニルマラ 省庁を束ねる仕事を首脳に先立って聴講者が相、首相府がより力を入らざるを得ない。それを踏まえてパネリストの皆さんにお話を伺いたい。行政分野では総務省（SARCA）がある。南アジア地域協力連合（SAARC）がある。ASEANに比べてモディ政権が速い。モディ政権になって、前回の首脳会議では電力融通の枠組みが合意されるなど、動きが出てきている。ニルマラ 先ほど松本さんから「州同士の競争が過熱している」とおっしゃったが、インバールやアツも増えるだろう。

サムなど北東インドの様子はどうか。松本 いわゆる北東州はまだ貧しい地域だ。パングラデシュ、ブータン、ネパールなどの国との連携も考えて、JICAとしても優先道路の選定といった調査を進めている。また、インバールでは今、水道事業を形成している。地域の底上げも必要だが、戦略的に都市を選んだ施策なども必要だ。

農村人口8億人の経済インパクト JICA、バランスある成長支援 世界市場の調達ハブに活用を

豊福氏 松本氏 ヴァルマ氏



豊福氏



松本氏

ニルマラ ヴァルマ氏はグローバルな業務に携わっているが、日本以外にインドをどう見ておられるか。国ごとにインドの見方が違うのか。ウアルマ 主要な国ではインドと中国だけが7%の成長率を示している。世界の投資家はインドを将来有望な投資先と考えているが、これまでは連立政権というところもあり、不確実性、一貫性がアジア地域全体に与える影響を懸念している。インドにとってメリ

モディ首相はどうか。ティワリー 中国の株式市場と、人民元の切り下げがニュースで取り上げられている。株式市場の改革、環境づくりに進んでいる。インフラの整備も進んでいる。2008年以降、中国の経済は融資・負債によって伸びてきた。この負債の一部を株式に替えようとしてきたが、うまくいかなかった。中国経済は減速している。サトヤナラヤナ氏 投資を呼び込めるか分かつた。株式市場の改革、環境づくりに進んでいる。インフラの整備も進んでいる。2008年以降、中国の経済は融資・負債によって伸びてきた。この負債の一部を株式に替えようとしてきたが、うまくいかなかった。中国経済は減速している。

膨大なポテンシャルに期待 ニッチ技術で企業マッチング 邦銀と協力、中小と関係深化

ニルマラ氏



ヴァルマ氏



ニルマラ純子氏

ニルマラ JICAの成長、製造業発展と環境保全なども行う。バランスのある成長という視点で支援していきたい。ニルマラ 日本企業とインド企業との関係は深まっている。今後は、国際協力銀行を通じて日本の中小企業との関係を深めていきたい。

ニルマラ 日本企業とインド企業との関係は深まっている。今後は、国際協力銀行を通じて日本の中小企業との関係を深めていきたい。

ニルマラ 先ほど農村の人口が8億人あり、トイレの必要性をどう考えているか。ウアルマ 大手企業に要求された。価格と価値をよ



モノづくり日本会議
—モノづくり推進会議 NextStage—



「モノづくり日本会議」は、2007年9月に設立した「モノづくり推進会議」での活動を土台に、広域企業ネットワークや他機関との連携を活用し、日本のモノづくり産業の強化に役立つ実践的な勉強会・シンポジウムなどのイベントや交流会などの活動を展開しており、日刊工業新聞社が事務局を務めさせていただいている団体です。

少子高齢化、環境対応、資源・エネルギー問題など様々な課題を乗り越え、「超」モノづくりの推進をテーマに、事業を進めております。

先進的な技術やノウハウを有する会員企業をはじめ、多彩な連携機関のご協力をいただき、モノづくり産業のさらなる発展を目指して事業を展開し、モノづくり産業の競争力強化につながるよう、地域間、企業間連携をおこない、ビジネスマッチングなども図ってまいります。

モノづくり日本会議の事業

「グローバル競争力強化関連事業」

- モノづくり力徹底強化検討会
- 人材育成関連事業
- 長寿企業イノベーション勉強会
- 価値創造型サプライチェーン検討会

「新産業・ビジネス創出/ビジネスモデル構想力向上検討事業」

- ネイチャー・テクノロジー研究会
- 新産業創出検討会
- ◇新産業技術促進検討会
- ◇農商工連携勉強会
- ロボット研究会

その他の事業コンテンツ

- 交流・マッチング事業
- 顕彰事業 ①モノづくり部品大賞
- モノづくり推進シンポジウム
- 特別講演会
- 地区別研究会
- ◇中部地区研究会

各事業の詳細は、モノづくり日本会議ホームページ（www.cho-monodzukuri.jp）をご覧ください。

●お問い合わせ先 ● モノづくり日本会議事務局 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1（日刊工業新聞社内） Tel: 03-5644-7608 Fax: 03-5644-7209